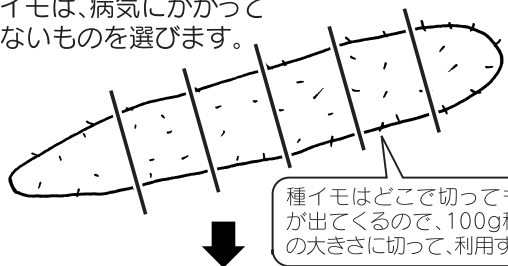


ナガイモ

1 種イモの準備

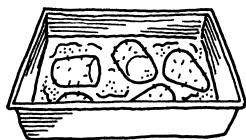
種イモは、病気にかかっていないものを選びます。



種イモはどこで切っても芽が出てくるので、100g程度の大きさに切って、利用する。

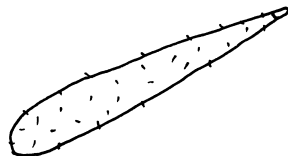
乾燥

切ったイモは石灰等をつけ、風通しの良い場所でひび割れが入るまで乾かします。(約2週間程度)



一本イモ

種イモ用に販売されている100g前後のものについては、切らずにそのまま植え付けます。



2 畑の準備

土作り

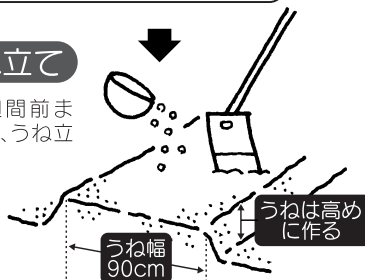
植え付けの2週間前までに苦土石灰、堆肥をまき70~80cm位深く耕します。



土作り
 ・苦土石灰: 1㎡あたり150g
 ・JAファーム有機堆肥: 1㎡あたり2~3kg

元肥・うね立て

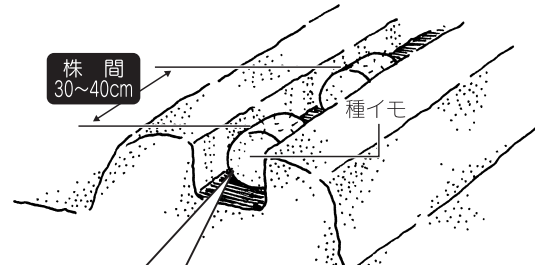
植え付けの1週間前までに元肥をまき、うね立てを行います。



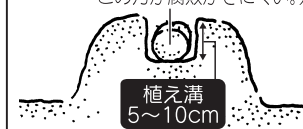
元肥
 ・JAファームいも専用肥料:
 1㎡あたり110~130g(ひと握り約40~50g)

3 植え付け

植え付けは、5月中旬~下旬を目安とします。



種イモ(切り口を横にする。この方が腐敗がでにくい。)



うねの中央に深さ5~10cmの溝をつけて種イモを植え、覆土する。地温の低い時期に無理して植えないのがポイント。

一本イモの植え付け方

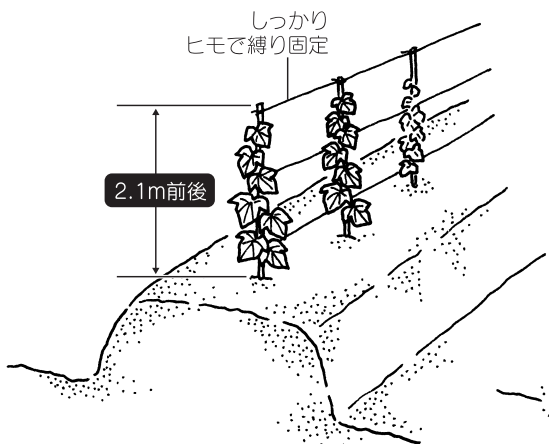
100g前後のイモは、そのまま植え付けます。



イモは斜めに植え、芽の方を上に向ける。

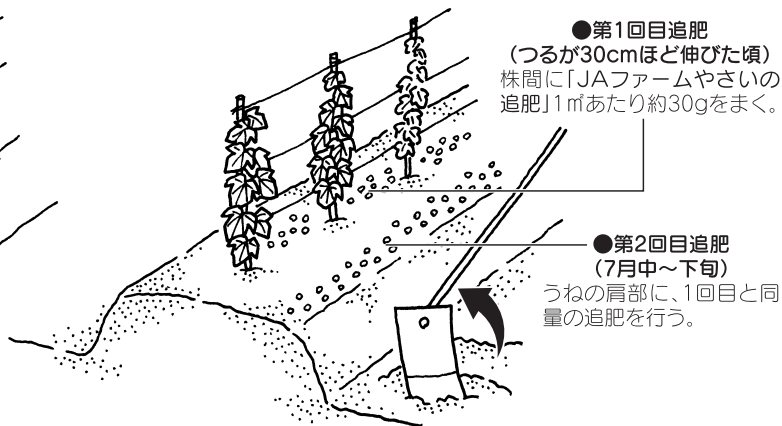
4 支柱立て

つるが伸びる前に、2.1m前後の支柱を立てます。
 ※場合によっては、ネットを張って栽培します。



5 追肥・土寄せ

つるが30cmほど伸びた頃に1回目、7月中~下旬に2回目の追肥を行います。その後、追肥した後にうねの表面を削って除草し、株元へ土寄せも併せて行いましょう。



●第1回目追肥
 (つるが30cmほど伸びた頃)
 株間に「JAファームやさいの追肥」1㎡あたり約30gをまく。

●第2回目追肥
 (7月中~下旬)
 うねの肩部に、1回目と同量の追肥を行う。

6 収穫

ナガイモ掘りには、
 細長スコップが便利だなあ~

秋が深まり、葉が黄色く枯れたら収穫適期です。掘り出したイモは、土付きのままただちに黒ビニール袋に入れます。(イモの乾燥と日焼けによる肌の変色を防ぎます。)



! 折れに注意!!
 イモに沿って穴を掘り、折れやすいのでいねいに掘り取る。

科名	ヤマノイモ科
原産地	日本、中国南西部
連作障害	あり(2~3年)

制作
JAファーム 専門部会
 (無断転載禁止)